

02	まちの話題
04	特集1 SAGA RALLY
06	特集2 よか多ククーポン券
08	多ク市からのお知らせ
13	あじさいへ行こう！
14	教育委員会日より
17	健康ノススメ
18	おたっしゅだより
20	まちのPickUPインフォメーション
24	ウォールアート ほか

1月22日[Thu]

令和7年度 多ク市短期留学報告会が行われました



▲留学して経験したことを報告する花島さん(上)と山田さん(下)

多ク市の短期留学制度を活用して、令和7年7月25日(金)から8月15日(金)までアメリカ合衆国(ワシントン州 オークハーバー)に留学した、東原彦舎中央校8年花島汐音さんと東原彦舎東部校8年山田紋夢さんが多ク市役所を訪れ、留学中の出来事や成果を報告されました。

花島さんは「留学前より気持ちを上手く切り替えることができるようになったと思います。この経験を通して多ク市に貢献したいです」と話されました。

山田さんは「伝えようとする気持ちと笑顔で行動することの大切さを学びました。これから様々なことがあると思いますが、この経験を生かしていきたいです」と話されました。

2人は現在でもホストファミリーとの交流は続いているそうです。

1月23日[Fri]

サガン鳥栖の安藤寿岐選手が香月市長を表敬訪問されました！



▲シューズを贈呈する安藤選手(右)とそれを受け取る香月市長(左)

サガン鳥栖に所属する安藤寿岐選手(東多ク町出身)が多ク市役所を表敬訪問され、昨シーズンのことや今シーズンの抱負などを香月市長に報告されました。

安藤選手は「去年は怪我也有りましたが、今シーズンはみなさんの期待に応えられるように頑張りたいです」と話され「2030年のワールドカップの日本代表をめざしているの、そこに向かって一つひとつ取り組んでいきたい」とこれからの目標も述べられ、昨シーズン使用していたシューズを多ク市に寄贈されました。

安藤選手は、多ク市では初のプロサッカー選手として、大学在学中にサガン鳥栖へ加入し、卒業に向けた論文作成と並行しながら、日々練習に励まれています。

2月8日(日)の開幕戦にも出場されました。寄贈されたシューズは多ク市役所1階市民ホールに展示しています。

1月24日[Sat]

動物ふれあいフェス2026開催



▲動物園に様変わりしたあいばれっとでふれあいを楽しみました

今回で3回目となる「動物ふれあいフェス2026」(主催:一般社団法人たく21)が、多ク市まちづくり交流センターあいばれっとで開催されました。館内ではたくマルシェが同時開催され、多くの親子連れでにぎわいました。

目玉の「乗馬体験」は開始前から定員の60人に達する盛況ぶり。ウサギやアヒル、モルモットなどとふれあえる「えさやり体験」は、終了間際まで長い行列ができるなど、ブースごとに多くの人でにぎわいました。

市外からの来場者は「SNSで知って来ました。動物とふれあいたいという子どもの夢が叶い、楽しく過ごせてよかったです」と笑顔で話されました。



今月の論語

内省不疚、夫何憂懼。

内に省みて疚しからずんば、それを何をか憂え

何をか懼れん

出典:顔淵第十二

反省して良心に恥じることがないならば、何も心配したりおそれたりすることはない。

今月の帰宅放送は、東原彦舎西浜校9年の田代涼音さんです。



多ク市公式 X (旧Twitter)



多ク市公式 YouTube



多ク市公式 Instagram



多ク市公式 Facebook

